

関東甲信越英語教育学会 令和3年度 春季研修会

1. テーマ 「新学習指導要領における指導と評価の一体化の実現に向けて」
2. 日時 2022年3月21日(月) 春分の日
3. 会場 オンライン実施 (Zoom を利用)
4. 参加費 無料

5. スケジュール

9:50~10:00 開会式

10:00~11:00 1. 授業実践報告 (小学校) (60分)

発表者 : 石毛宏尚 先生 (四街道市教育委員会指導課)

タイトル : 指導と評価を一体化する言語活動の DIAMOND

概要 : 四街道市では、小中一貫教育の大きな柱として、英語教育推進モデル校の2年間の実践をもとに、令和2年度から市内全小学校を文部科学省の教育課程特例校に申請し、小学校1年生から外国語科をスタートさせました。発達段階に合わせ4技能5領域をバランスよく指導していく本市の指導モデルをご紹介します。

11:10~12:10 2. 授業実践報告 (中学校) (60分)

発表者 : 中島真紀子 先生 (筑波大学附属中学校)

タイトル : 指導と評価の一体化を目指すための授業づくり

概要 : 指導と評価の一体化を目指すためには、まず計画的に授業を行うこと、そして授業で行う活動、生徒に課すタスクは、意図されているものである必要があります。さらには、指導内容に応じたテスト作成をすることも大切です。私が実践していることを具体的にお伝えしつつ、参加者の皆さんと一緒によりよい方法を考えていきたいと思っております。指導と評価の一体化を目指すことで、生徒の英語学習へのモチベーションも向上していくはずです！

12:10~13:00 昼食休憩

13:00～14:00 3. 授業実践報告（高等学校）（60分）

発表者：村越亮治 先生（神奈川県総合教育センター）

タイトル：＜高等学校＞新学習指導要領に基づく評価と授業のあり方

概要：高等学校外国語科の新しい学習指導要領の実施が迫り、学校現場では、改訂の趣旨、指導計画や授業のあり方、評価の仕方などについて、受け止めの深刻さや理解度に差があるように思われます。本発表では、神奈川県における公的教員研修で説明してきた、新学習指導要領の概要、テスト問題作成の留意点、実行可能性を踏まえた新しい評価スキームの考え方、それらに伴う授業デザイン、教科書の活用法などについて、お話しさせていただきます。

14:10～15:40 4. 講演（90分）

講師：松沢伸二 先生（新潟大学）

タイトル：英語教師のための3つの新指導法・評価法

概要：国の学習評価に関する参考資料を補充する新指導法・評価法を3つ紹介する。新学習指導要領の目標は言語的目標と言語外目標に二分される。この二目標を共に指導し評価する二連アプローチを紹介する。新指導要領はテクストレベルの技能の伸長を求めている。この技能を指導し評価するジャンル準拠教育を紹介する。中高の新指導要領は授業を英語で行うとしている。この原則下でメディアエイションを指導し評価する複言語主義を紹介する。

15:40～15:50 閉会式

6. 参加申込

以下のQRコードまたは学会HPより、必要事項をご記入の上お申し込みください。

学会ホームページ <http://www.kate-j.sakura.ne.jp>



(申込〆切 2022年3月20日（日）17時まで)

7. お問い合わせ 以下のメールアドレスへお願いいたします。

kate.kenshukikaku@gmail.com 研修企画委員 荒川洋一（埼玉県立伊奈学園総合高等学校）